

【 防災について考える 】

1 防災クイズから学ぶいざという時の行動!

対象 : 小学校低学年～一般 人数 : 10～50名 時間 : 40～60分
体験使用物品 : 新聞紙等、ペットボトル、牛乳パック

対象に応じた防災クイズに挑戦し、災害時の対応や正しい行動について解説をします。また、一時的に活用できる食器やスリッパを、新聞紙などを使って作ってみます。

- ①防災クイズに挑戦! (解説つき)
- ②新聞紙で作るスリッパ
- ③新聞紙で作る食器 (コップ型、ハコ型、フネ型)

※ペットボトルや牛乳パックで作る食器等の作り方の紹介も可能

2 身近にあるものを工夫して活用しよう!

対象 : 小学校高学年～一般 人数 : 10～50名 時間 : 45～90分
体験使用物品 : 毛布、懐中電灯、ペットボトル、ビニール袋、ジャッキ、オムツ 等

身近にあるものを工夫して使うことで、いざという時に役立つ道具に変わります。家にある身近なものの、いざという時の活用方法を学びます。

- 例) ①暗い部屋を明るく照らす方法は?
②トイレの水が流せない! トイレが使えない時どうする?
③けが人を安全な場所に移動させたい!
④バケツやタンクがなくて水を運ぶことができない!

紹介のあった活用方法を参考にして、けがをしたカエルちゃん(人に見立てた大きなぬいぐるみ)を助け出します。知恵を出し、役割を決め、力を合わせて助け合って行動する! 実際に動いて体験してみましょう。

- ①みんなで協力して自分たちができること、助ける方法を考えてみよう
- ②使用できる道具を集めよう
- ③道具を使ってカエルちゃんを助け出そう
- ④けがをしたカエルちゃんを安全な場所に移動させよう
- ⑤自分たちにできることを考えてみよう

シリーズで学ぶ (取り組みモデル)

※リスト内のメニューの下部にページと番号を表示しています

ピンポイントでの活用や、テーマに合わせてメニューを組み合わせることも可能です。

防災について考える
(防災クイズから学ぶ)

11p-1

身近にあるものを
工夫して活用しよう

11p-2

災害支援や自主防災
を行う人の話を聞こう

9p-2

日頃から自分たちにでき
ることを考える